

サルスベリ新品種 ‘ディアルージュ’ ‘ディアパープル’ ‘ディアウィーピング’ の育成経過と特性

堀越禎一¹⁾・岡部 誠²⁾・相原朋之

Breeding Processes and Characteristics of New Crape Myrtles (*Lagerstroemia spp.*) ‘Dear rouge’ ‘Dear purple’ & ‘Dear weeping’

Teiich HORIKOSHI¹⁾, Makoto OKABE²⁾ and Tomoyuki AIHARA

摘 要

うどんこ病に強く観賞性に優れたサルスベリ新品種 ‘ディアルージュ’ ‘ディアパープル’ ‘ディアウィーピング’ の3品種を育成し品種登録を行った。

‘ディアウィーピング’ は光沢のある赤褐色の蕾と、これまでの品種にはない鮮やかな赤花色が特徴。

‘ディアパープル’ は樹勢が強く、良く分枝した樹冠全体に開花する淡紫色の花と、白い幹肌が特徴。

‘ディアウィーピング’ は濃赤紫色の花と、横方向に伸び出した枝が下垂する枝垂れ樹形が特徴。

いずれの品種も一才性を有し、現在流通しているサルスベリ園芸品種に対し花色、樹形に特徴がありうどんこ病に強い。通常の露地栽培ではうどんこ病防除の必要性は認められない。

謝 辞

本品種育成の貴重な遺伝資源をご提供いただいた財団法人日本花の会花と緑の研究所結城農場の田中秀明場長に謝意を表するとともに、育成品種の栽培管理にご尽力をいただいた園芸試験場相模原分場（当時）並びに農業総合研究所生物資源部関係職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

キーワード：サルスベリ，品種育成，ディアルージュ，ディアパープル，ディアウィーピング，うどんこ病

Summary

We have hybridized and registered three new variety of crape myrtles (*Lagerstroemia spp.*) 'Dear rouge', 'Dear purple', and 'Dear weeping', that are resistant to powdery mildew and have highly ornamental value.

'Dear weeping' has a characteristic of lustrous red brown buds and unprecedented sharp red color of flowers.

'Dear purple' is vigorous, has well branching canopy filled with light purple flowers, and white trunk surface.

'Dear weeping' is characterized by the deep red purple flowers, weeping tree type which branches horizontally then droop downward.

All these variety are more resistant to powdery mildew than any of common crape myrtle (*Lagerstroemia*) varieties and no need of chemical spraying of the disease in ordinary field cultivation.

Key word : crape myrtle, Breeding, 'Dear rouge', 'Dear purple', 'Dear weeping', powdery mildew

緒 言

サルスベリ (*Lagerstroemia indica*) は夏を彩る花木の代表として古くから庭木や庭園樹として親しまれてきた。また近年は街路樹等、緑化植物としての利用も増加しつつある。しかし、現在広く流通しているサルスベリ (インディカ種の園芸品種) は、うどんこ病に対する耐病性が低く、罹病による観賞価値の低下や農薬使用に対する諸制限により利用場面で問題となっている。

当所では、うどんこ病に対し抵抗性を有するヤクシマサルスベリ (*L. fauriei*) や、アメリカ国立樹木園で育成されたヤクシマサルスベリとサルスベリの種間交雑園芸品種等を遺伝資源として導入し、特性調査を行った結果、花が小さく花色に乏しい、樹勢が強く早期開花性がやや劣る等、園芸的な形質面で改善の余地が認められた。これら導入育種素材をもとに優れた形質を持つ新品種を育成したので、その育成経過と特性について報告する。

育成経過

うどんこ病に強く早期開花性、花色、樹形の改善を目標に1990年にヤクシマサルスベリとサルスベリの種間交雑園芸品種等を片親とした、33組み合わせの交配を行い、翌年、実生4506個体を得た。同様に1991年に11組み合わせの交配を行い、翌年、実生593個体を得た。これらの実生苗を1991年及び1992年にそれぞれ圃場に定植し調査を開始した。1994年までにうどんこ病に対する罹病程度を指標に506個体を1次選抜した。1995～1996年に開花日、花色等花の形質を中心に調査を行い62個体を2次選抜した。1997～1998年に種苗分類特性調査報告書の調査項目に従い2次選抜個体の特性調査を行った。これをもとに、うどんこ病に強く、花の形質や樹形等観賞性に優れた、普通樹形の赤花個体、紫花個体及び枝垂れ樹形の赤花個体の3系統を選抜した。

その後、原木及び栄養繁殖苗を供試し特性調査を継続したところ、各特性が安定していることが確認されたので1999年に普通樹形の2系統を‘ディアルージュ’ ‘ディアパープル’、2000年に枝垂れ樹形の系統を‘ディアウィーピング’ とそれぞれ命名し種苗法に基づく品種登録の申請を行った。

‘ディアルージュ’ は‘大虹’ (‘ペパーミントレース’) × ‘タスカローラ’ の組み合わせから得られた普通樹形で濃赤色花の個体を、‘ディアパープル’ は‘タスカローラ’ の自然実生から得られた淡紫色花の個体を、‘ディアウィーピング’ は市販一才性紅花品種 (‘相武紅’ と命名) の自然実生から得られた、枝垂れ樹形で濃赤紫色の個体を選抜したものである (第1表)。

新品種の特 性

いずれの品種もうどんこ病に罹病しにくく、通常の露地栽培では薬剤によるうどんこ病防除の必要は認められない。小花の大きさは現在流通しているヤクシマサルスベリとの種間交雑品種に比べ大きく、開花始めは3品種ともに7月上中旬で、開花期間も長い。

‘ディアルージュ’ の花色は濃赤で、これまでの赤色花系品種にはない鮮やかな濃い赤色花が特徴。個々の花房はあまり大きくないものの、蕾色が光沢のある赤褐色で開花前から花房が目立つ。‘ディアパープル’ の花色は明赤味紫で、現在流通しているうどんこ病耐病性の品種群の中では最も濃い紫花色である。花房の大きさは中庸であるが、側枝にも花芽が良く分化し、樹冠全体に開花する。また、ひこばえがほとんど発生しない。‘ディアウィーピング’ の花色は濃赤紫で、枝の発生角度が広く、横方向に伸び出したしなやかな枝が、緩やかに垂れ下がる枝垂れ樹形が特徴である。

(1) ‘ディアルージュ’ の特性

樹形は立ち性で樹勢は中庸、枝の太さは細く色は淡茶、分枝性及び節間長は中。葉身の形は広披針形でやや細く、未成葉色は濃赤茶、成葉色は濃緑、光沢は中程度。花房長 (10.5cm) は短く、幅 (9.0cm) は狭く、蕾の色は赤褐色で着色は強い。花は一重で花の大きさ (4.3cm) は中程度、花色は濃赤 (日本園芸植物標準色票No.0408) で単色、6弁で香はわずかにある程度。開花始めは7月上中旬で比較的早く開花期も長い。対照品種の‘タスカローラ’ (明赤紫: 9706)、‘カロライナビューティ’ (鮮赤紫: 9707) に比べ花色が濃く鮮やかで、うどんこ病に対する耐病性は‘タスカローラ’ と同程度。開花始めは対照品種より早い (第2表、第1, 2, 7図)。

第1表 サルスベリ新品種の交配組み合わせと対照品種

品種名	交雑組み合わせ	交配年	品種登録上の対照品種
ディアルージュ	大虹×タスカローラ	1990	タスカローラ、カロライナビューティ
ディアパープル	タスカローラOP	1990	マスコギー、アバラッチ
ディアウィーピング	相武紅OP	1991	アコマ、ウィーピングピンク

第2表 サルスベリ新品種及び対照品種の主な特性

品種名	樹姿	樹勢	花房長/花房幅	小花数	小花径	花色	カラーチャート ^y	開花始	うどんこ病 ^x
			cm	個 ^z	cm				
ディアムージュ	直立	中	10.5/9.0	69	4.3	濃赤	0408	7/中	2
ディアパープル	開張	強	18.0/15.5	83	4.2	明赤味紫	8905	7/中	1
ディアウィーピング	枝垂	弱	15.0/9.5	54	4	鮮赤紫	9507	7/上	2
大虹	直立	弱	-/-	-	3.7	鮮紅/淡紫ピンク	0107/9507	8/上	4
タスカローラ	開張	強	24.0/24.0	250	4.1	明赤紫	9706	7/下	2
カロライナビューティ	開張	中	12.0/10.5	53	4	鮮紫赤	9707	7/下	3
マスコギー	開張	強	21.5/17.5	241	3.1	紫ピンク	8903	7/中	1
アパラッチ	直立	強	23.1/21.0	318	3	鮮紫ピンク	8904	7/中	1
アコマ	枝垂	中	21.0/15.0	154	3.6	黄白	2501	7/中	1
ウィーピングピンク	枝垂	中	35.0/24.0	231	4.8	紫ピンク	8903	7/中	2

z : 1花房あたりの小花数

y : 数字は日本園芸植物標準色票の番号

x : うどんこ病の罹病程度を表す 1, 罹病するが病斑は広がらない 2, 罹病した病斑がやや広がる
3, 罹病した病斑が広がる 4, 激しく罹病する

(2) 'ディア パープル' の特性

樹形は立ち性で樹勢は強く、枝の太さは中程度、色は淡茶、分枝性及び節間長は中。葉身の形は広披針形でやや細く、未成葉色は緑褐、成葉色は濃緑、光沢は弱い。花房長(18.0cm)及び花房幅(15.5cm)は中庸で、蕾の着色は弱い。花は一重咲きで花の大きさ(4.2cm)は中程度、花色は明赤味紫(標準色票8905)で単色、6弁で香はわずかにある程度。開花始めは7月上中旬で比較的早く開花期も長い。対照品種の'マスコギー'(2.8cm)に比べ小花の大きさが大きく'マスコギー'(紫ピンク:8903)、『アパラッチ』(鮮紫ピンク:8904)に比べ花色が濃い。うどんこ病に対する耐病性は対照品種と同程度でほとんど罹病しない(第2表, 第3, 4, 7図)。

(3) 'ディア ウィーピング' の特性

樹形は枝垂れ樹形で樹勢は比較的弱く、幹及び前年枝の色は淡茶色で、分枝性は中程度、枝は細く節間長は中庸。葉は広披針形全縁で波打はなく、色は濃緑色でやや細い。花房長(15.0cm)は中庸、幅(9.5cm)は狭い。花は一重で大きさ(4.0cm)は中程度、花色は鮮赤紫(標準色票9507)で単色6弁で香りはほとんど無い。開花始めは7月上中旬で比較的早く開花期間も長い。本品種及び対

照品種はいずれも枝垂れ樹形であるが対照品種の'アコマ'の花色は黄白(同2501)、『ウィーピングピンク』の花色は紫ピンク(同8903)で花色が異なる。うどんこ病に対する抵抗性は'アコマ'よりやや弱く『ウィーピングピンク』と同程度である(第2表, 第5, 6, 8図)。

新品種の利用

いずれの品種も従来品種に比べうどんこ病に対する耐病性が高く、通常の露地栽培では薬剤による防除の必要がないため、庭木や公園樹としての植栽に適している。また、一才性を有し、鉢栽培でも良く花芽分化することから鉢物花木としての利用も期待される。特に、『ディアパープル』は樹勢が強くひこばえが発生しにくい特性から、街路樹や公園樹として、『ディアウィーピング』は枝垂れ樹形を生かしたスタンダード仕立ての鉢物としての利用が期待される。

引用文献

- Egolf, D.R. and A.O. Andrik. 1978. The Lagerstroemia handbook/checklist, 56. Amer. Assoc. Bot. Gard. & Arboret. Los Angeles.
- Egolf, D.R. 1981. 'Luscarosa' Lagerstroemia. Hort Science 16. 788-789.
- 神奈川県農業総合研究所. 1999. 平成10年度試験研究成績書(花き観賞樹). 38-39.
- 神奈川県農業総合研究所. 2001. 平成12年度試験研究成績書(花き観賞樹). 27-28.

第3表 サルスベリ新品種の登録年及び登録番号

品種名	登録年月日	登録番号
ディアージュ	2002年11月14日	第10859号
ディアパープル	2002年9月4日	第10612号
ディアウィーピング	2003年11月18日	第11566号



第1図 ディアラージュ樹形



第2図 蕾も赤褐色で開花前から花房が目立つ
(ディアラージュ)



第3図 ディアパープル樹形



第4図 細い枝にも良く花が咲く
(ディアパープル)



第5図 ディアウィーピング樹形



第6図 しなやかに枝垂れる花房



第7図 ポット苗でも良く花芽が分化する
(左:ディアルーージュ 右:ディアパープル)



第8図 鉢物のかさ仕立て (ディアウィーピング)